

## これまでの検討経過

(平成 30 年 10 月 23 日 第 25 回与謝野町地域公共交通会議)

人口減少社会において、住民の生活に必要なバス等の公共交通のあり方について、本交通会議で検討を進めます。

### 1. 検討の範囲

人口減少時代を見据えながら、地域住民の移動手段として持続可能な公共交通網への再編を主な検討範囲とする。なお、北近畿を営業エリアとする京都丹後鉄道、及び介護等福祉を支える輸送（福祉有償運送、福祉タクシー）については原則、範囲から除外する。

### 2. 見直しの方向性

#### (1) 地域間幹線系統（丹海バス路線）

- ①利用の多い高校生の通学の移動手段をしっかりと確保し、次に利用の多い高齢者の買い物・通院等に配慮
- ②生産性を向上し持続可能な路線に（国庫補助制度を活用）

#### (2) 地域内交通の見直しについて

- ①本町にとって最適な地域内交通の検討を進めることとするが、導入準備も含めて一定の期間が必要。
- ②その間は「コミュニティバスひまわり」の運行継続を前提とし、当該バスの生産性向上を図る。

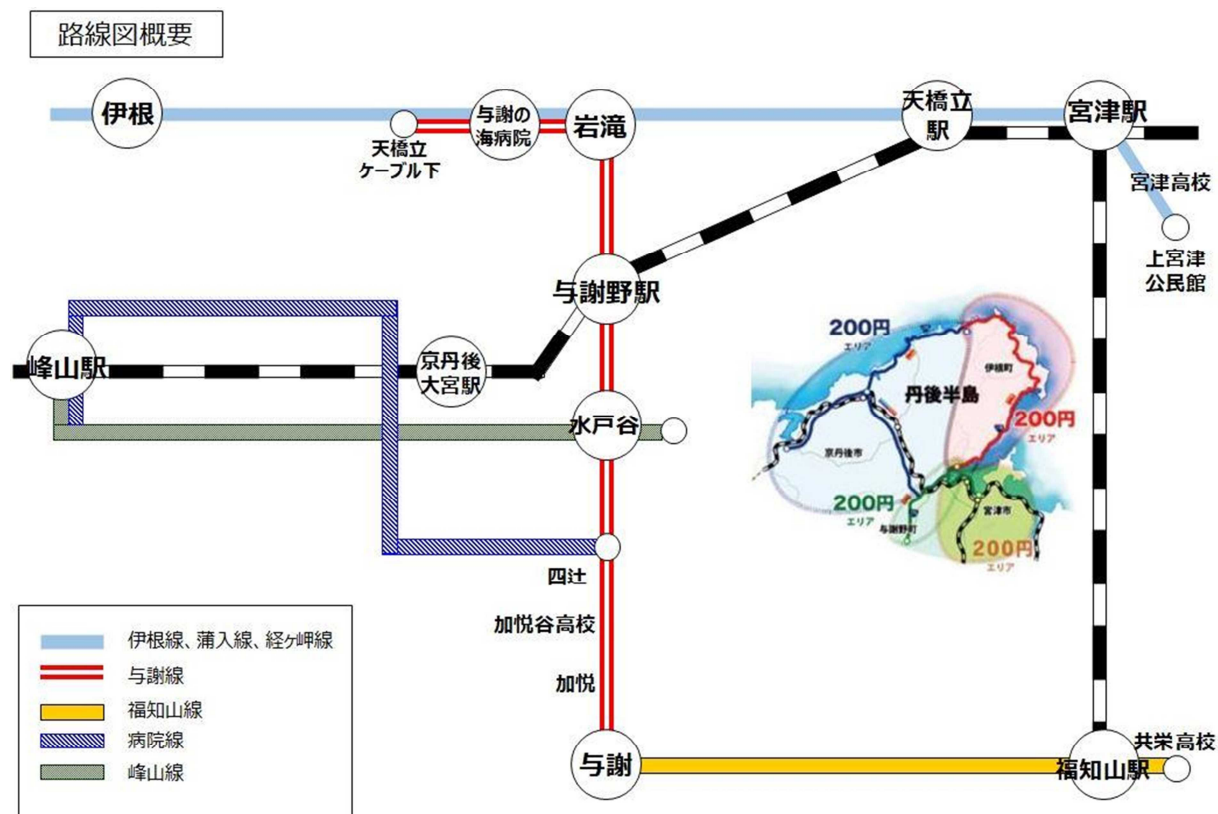
### 3. 与謝野町地域公共交通会議の開催状況

日程	協 議 概 要
第 26 回 (H30.12.25)	与謝線・福知山線路線、病院線を含む地域公共交通の再編を検討
第 27 回 (H31.2.21)	与謝線・福知山線路線の再編案について議論 コミュニティバスひまわりについて平成 31 年 4 月 1 日より運行曜日を変更することを承認
第 28 回 (R1.5.20)	与謝線・福知山線について令和元年 10 月 1 日より再編を行うことで承認
第 29 回 (R2.2.18)	病院線の再編、コミュニティバスひまわりの再編について、方向性を確認

#### 4. 前回（令和2年2月18日）会議の確認事項

##### ①丹海バス病院線の再編案（令和2年10月1日～）

【峰山】から「与謝線」との結末点である【四辻】までのルートとし、市町間の通学の移動手段を確保する



##### ②町営コミュニティバスひまわりの再編案（令和2年10月1日～）

コミュニティバスひまわりを再編し、岩屋地域を運行する「岩屋線」を設定する

路線名	起点	経由	終点	運行距離	運行日
奥滝線	山河公民館	鹿ノ熊、ウイル	野田川庁舎	約 23 km	火・金曜日
岩屋線	岩屋上	野田川庁舎	ウイル	約 6 km	
加悦奥・石川線	加悦奥十番組	香河、川上、石川、丹海本社前、野田川庁舎、ウイル	加悦庁舎	約 30 km	水・土曜日